

就学支援シートを作成する方へ

お子さんのこれまでの成長発達の歩みを大切に、就学後も積み重ねができるよう、必要な支援の手立て・配慮点など、就学後の教育的支援を考えるにあたってのアドバイスをお願いします。すべての欄を記入しようとなさなくて結構です。ポイントを教えてください。各項目の記入にあたっての観点や記入例は次のとおりです。

I 成長・発達の様子

1 健康

☆健康状態、服薬の有無、アレルギーの有無や視覚・聴覚上の配慮等

例 ・喘息発作がある。季節の変わり目に起こしやすく、吸入や服薬のタイミングを保護者と打ち合わせている。
・補聴器を使用している。右側からの方が聞き取りやすい。話し始めの合図があるとよい。全体への話は近くで行うようにした。

☆歩行、姿勢、車椅子等の使用状況、動きのぎこちなさ、手・指の動き、筋緊張の高・低

例 ・車椅子を使用している。自分でこくこともできるが、段差では注意と介助が必要である。
・活発で身軽なので高い所からの飛び降り、滑り台でスピードを楽しむ。ジャングルジムをひとりで登降する。
・手指の細かい調整が難しいため、ペンホルダーを使用。大きめの用紙が書きやすい。はさみの操作は連続切りは難しいが、紙の向きを補助してじっくり待つことで、完成できる。

2 日常生活

☆食事（食形態、偏食、食べ方、時間等）、排泄、身支度（着替え、靴の履き替え等）

例 ・野菜が苦手なため、混ぜてしまうと嫌がるため、量を減らすところを見せて、他児といっしょに一口食べることを頑張るようにしている。
・排泄の始末はひとりでできるが、遊びに夢中になっているとタイミングが遅れて汚してしまうことがある。
・登園・降園時の支度は、一番隅のロッカーを使用し、手順カードを作ってロッカーに貼っておくことで、ひと声かければ落ち着いて自分で行うことができるようになった。

3 人とのかかわり

☆人とのかかわり方の様子

例 ・自分からかかわることは少なく、電車やブロックなど関心をもちそうな遊びへの橋渡しをすると、一緒に作る様子が見られる。
・特定の人（担任）とであればやりとりをすることができる。他児への興味が出てきているが、まだ一方的なかかわりになりやすい。
・誰とでもかかわることができるが、人の目を気にして注目してほしがるところがある。

☆集団の規模や、参加する場面や場所の特徴

例 ・自由遊びより、カルタとりのような簡単なルールのある遊びを少人数で行う方が参加しやすい。
・長い時間じっと動かずにいることが難しいので、集会場面では声かけしやすく、外へ出て気分転換しやすい席にしている。

☆言語・指示理解の程度・状況、要求の伝達方法、コミュニケーションの成立等

例 ・ことばでの指示より、散歩時は公園の写真を見せるなど、視覚的な提示が理解しやすい。
・自分の方に注意を向けさせるために大きな声をあげることがある。場面に応じた声量や言葉遣いをその都度教えている。
・何も言わずに他児の物をもってトラブルになることがあり、「順番に」をキーワードにして一緒に使うようにした結果、できるようになってきている。

4 遊び・学習

☆どのような遊びを好むか、文字や数への興味・関心、また、取組みの様子等

例 ・体を動かさず活動的な遊びを好む。三輪車やスクーターボードが気に入っている。
・ひとりで絵本を見るなど静かにしていることを好む。本児の知っている物語のごっこ遊びで知っている役を与えられると、台詞を言いながら遊びに加わっている。
・TVヒーローの名前に興味をもち、ひらがなでなくカタカナがわかるようになってきている。
・3個までの数がわかる。10まで唱えることはでき、具体物を一緒に指さしながら数えていくことができる。

5 性格・行動の特徴

☆性格行動の特徴、また配慮が必要な（気になる）行動等

例 ・パニックになったときは、集団から離れた静かな場所に移動することでいったん落ち着き、それから話をするとよく聞くことができる。
・思いついたら周りにお構いなしに動き出す。見通しをもつこと、周りのことも考えることを指導している。
・大きな音や悲鳴のような声に敏感で嫌がるので、耳栓を用意しておき適宜利用した。

II 指導内容・方法の工夫や必要な配慮等に関すること

- ☆お子さんの成長・発達を支援し、見守る上で、就学前機関が特に大切にしてきたこと
- ☆小学校の先生方が、一貫性をもって対応することが大切と思われること

III 就学後の生活に関する家庭の意向・要望・期待など

- ☆保護者が学校に伝えたい内容

■ その他

- ☆就学前機関が複数ある場合は、その機関が作成した資料を添付することもできます。
- ☆また、就学支援シートを別に作成し、あわせてご提出いただくこともできます。
- ☆医療機関等の他の機関からの引継ぎが必要と思われるものがありましたら、あわせてご提出ください。

■作成年月日は、保護者と就学前機関が記入後、保護者とともに確認した日付をご記入ください。

■就学支援シートが完成したら、保護者から就学先の学校に提出します。あらかじめ、学校にご連絡の上、お持ちください。

■提出時または提出後に、小学校において面談の機会を設けさせていただく場合があります。

*特別支援学級【固定制・通級制（特別支援教室を含む）】への入級及び特別支援学校への就学は、就学相談を受けることが必要です。

相談をご希望の方は、事前に下記までお問い合わせの上、おいでください。

【就学相談の問い合わせ】文京区教育委員会教育推進部教育指導課 ☎03-5803-1298(直)

*学校及び教育委員会は「就学支援シート」の作成及び活用の過程を通じ、個人情報の保護・管理を徹底します。

氏名

生年月日
(在園期間)

I 成長・発達の様子

～

区分	就学前機関記入欄	保護者記入欄
	① 健康 ① 身体・健康 ○健康上必要な配慮 ○視覚・聴覚の状況等 ② 移動・動作	
② 日常生活 ○食事 ○排泄 ○着脱の状況		
③ 人とのかかわり ①かかわり方の様子 ②集団への参加 ③意思疎通の方法 ○言葉・指示の理解 ○要求の伝達方法		
④ 遊び・学習 ○好きな遊び ○文字や数字への 興味・関心		
⑤ 性格・行動の特徴		

II 指導内容・方法の工夫や必要な配慮等に関すること (大切にしてきた内容や方法)

* 就学後も引き続き教育的支援が必要と思われる内容や必要な配慮に関すること

- 使用教材や教具、環境設定や働きかけの工夫、支援のコツ、効果のあった指導法など
- これまでの指導により伸びたこと、これからも伸ばしてほしいことなど

* 就学前機関記入

